

やまぐちっ子学力向上だより

第 145 号 R6.4.8

山口県教育庁義務教育課

「自立した学習者」の育成に向けて

新学期を迎えました。新たな気持ちで、学習をがんばろうと思っている子どもも多いことでしょう。このような気持ちをより高めるためにも、ぜひ子どもたちの発達の段階に応じて、「学ぶことの意味」を考える機会をもっていただきたいと思います。

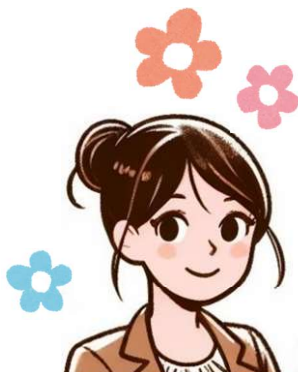
今、求められているのは、「自分に必要な学びを自分でつくる力を育成すること」、つまり、「自立した学習者」になるよう支援していくことです。子どもたち自身が「学ぶことの意味」を考えることが、「自立した学習者」への一歩になるはずです。

下に示したのは、教員から子どもたちに届けたいメッセージの例です。



「学び」は自分の可能性を広げるアイテムだよ。
できるが増えると、将来の道が広がり、夢が実現するよ。自分の好きなことや得意なことを生かして、周りの人たちを笑顔にもできるよ。

みんなとともに学ぶと、たくさんのアイデアに出会えたり、難しい問題の答えにたどりついたり、新しい考え方が見えてきたりするんだよ。
だから、みんなとともに学ぶと、ワクワクするよ。

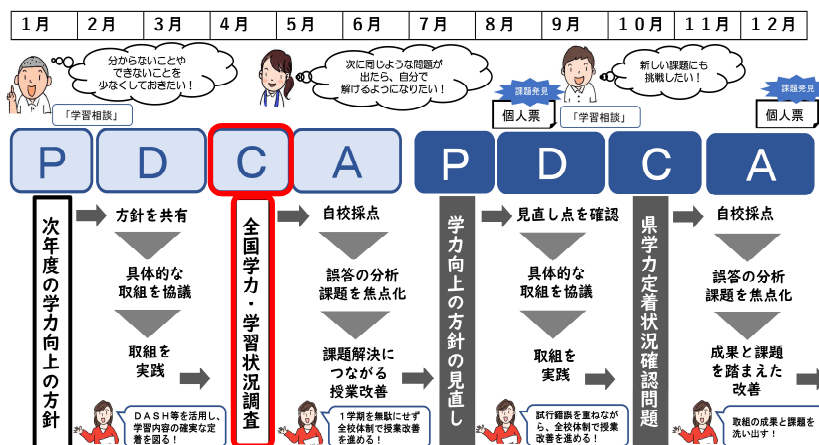


学ぶことはあなたの人生を豊かに彩るよ。
学ぶことで、「見方が変わる」「感じ方が変わる」
「考え方が変わる」「取り組む方法が変わる」
「使う言葉が変わる」「人とのかかわり方が変わる」
「自分自身の行動が変わる」んだよ。

先生方が感じられている「学ぶことの意味」を、子どもたちへのメッセージとして届けてください。

PDCAサイクルのCの時期です

4月18日(木)は、**全国学力・学習状況調査の実施日**です。この調査は、昨年度の10月確認問題(CBT)の結果を受けて、各学校で創意工夫して取り組んできた教育活動の成果を確認する機会となります。成果を適切に図ることができるよう、各学校で次の点に留意してください。



今は、この時期です

年間2回のPDCAサイクルのイメージ図

(1) 子どもたちが自分の力を十分に発揮できるように

マニュアルに記載されている準備や指示の内容・言葉を関係者全員で確認するとともに、落ち着いた調査環境を整えるなど、全校体制で支援しましょう。

(2) 子どもたちが意欲的に取り組むことができるように

子どもたちと日々接する教員の関わり方次第で、調査に対する子どもの取組姿勢は変わります。「何のために行うのか」を子どもたちと共有し、子どもたちが前向きな気持ちで調査に臨むことができるよう言葉をかけましょう。また、全国の同世代の仲間が同じ調査を実施することのよさについて考える時間を設定するなど、意欲的に取り組むことができるような働きかけをお願いします。

(3) 子どもたちが自信をもって取り組むことができるように

1月に各学校にお届けした「やまぐちっ子学習プリントDASH」は、全ての子どもの可能性を引き出すために、これまでに課題がみられた問題を精選した学習プリントです。教員の丁寧な指導のもと、目の前の子どもたちの状況に応じた、課題を課題のままにしない取組を行い、自信をもって調査に臨むことができるように支援しましょう。



こちらの2次元コードから、DASHをダウンロードできます。

(4) 子どもたちが学習の改善を図ることができるように

調査後は、すぐに自校採点を行い、全教職員で、これまでの取組の成果と課題を振り返るとともに、今後の取組み方を決めていきましょう。

また、この調査は、子どもたちにとっても、学習に対する取組の成果と課題を把握する機会になることから、子ども自身が学習の改善を図ることができるような働きかけも考えていきましょう。